

5月13日、尾形善次郎さん(多^{おがたぜんじろう}久町西の原)は、東京国立劇場での叙勲伝達式に出席され、その後皇居で天皇陛下の^{はいまつ}拜謁を受けられました。

尾形さんは昭和32年以来小中学校の教諭、校長、教育長として多^{おがた}久市教育の振興と発展に貢献されました。

熱意と工夫をこらした社会科教育の実践、時に児童・生徒と寝食を共にし県内を歩き、地図を作製するなど「歴史の舞台は江戸や奈良ばかりじゃない」と郷土の素晴らしさを説かれました。幅広い分野の教育活動は、児童・生徒に夢や希望を抱かせ、豊かな感受性の育成・学力向上につながりました。

「豊かな歴史と自然、人情味あふれ誇りある文化を持つ多^{おがた}久の地で生活し、みなさんの指導助言のお陰で受章することとなりお礼を言いたい」と述べられました。

天山登山が趣味の尾形さん。「個性あふれる郷土づくりに尽力したい。天山を友とし、これからも多^{おがた}久の歴史を学んでいきたい」と『夢をのせて大航海』という自身の講話集を前に目を輝かせ抱負を熱く語られました。

春の叙勲

受章おめでとつげにきます！

瑞宝双光章を受章

旭日双光章を受章

5月8日、春の叙勲伝達式が県庁で行われ、地方自治と厚生労働分野で功績のあった10人に知事から勲章が授与されました。

市内からは吉浦啓一郎さん(東多^{よしうらけいちろう}久町別府三区)が市議会活動を含め各種委員として今日まで23年間地方自治の振興と住民福祉の向上に尽力された功績をたたえられ「旭日双光章」を受章されました。

平成3年4月に47歳で多^{おがた}久市議会議員になり、平成23年4月までの4期16年間活動され、この間副議長も務められました。また多^{おがた}久市スポーツ審議会などの委員としても市勢伸展に貢献されました。

吉浦さんの信条は“俺が俺がの我(が)で生きるより、お陰お陰の下(げ)で生きる”で「議会その他、地道にコツコツとみなさんの力になれたらという思いでやってきました」とこれまでを振り返り「今後も肩ひじ張らずに自分にできることをやっていきたいです」と抱負を語られました。

また、5月15日には皇居豊明殿にて天皇陛下に拜謁されました。



▲瑞宝双光章を受章された尾形さん



▲旭日双光章を受章された吉浦さん

祝3周年！よって見んしゃい！軽トラ市多^{おがた}久&元^{もろこ}気玉まつり

5/11

“祝3周年！よって見んしゃい！軽トラ市多^{おがた}久&元^{もろこ}気玉まつり”が多^{おがた}久駅北駐車場で、^{はら}原商工連盟とまちづくりグループ『ハビたくらぶ』の共催で開催されました。開会式では^{やまもと}原商工連盟の山本茂雄会長が「3周年を迎えられたのは、近隣住民はじめみなさんの協力があったからこそ」とあいさつ。



元^{もろこ}気玉まつりでは、おらほのラジオ体操、よさこい、保育園児による演技など多くの市民が参加しました。

また、東部太鼓の演奏、音楽ライブなど趣向を凝らした催しも行われ、会場には笑顔があふれ、大いに賑わいました。

多^{おがた}久市高齢者趣味の作品展

5/7 ~ 5/20

高齢者のみなさんの趣味活動や、老人クラブ活動などで制作した作品を展示した『多^{おがた}久市高齢者趣味の作品展』を市役所1階市民ホールで開催しました。



作品展には、絵画、書、写真、手芸・工芸部門の作品46点が展示され、訪れた来場者は、「発想が素晴らしい。手が込んでいて丁寧な仕上がりで」と多彩な作品を熱心に鑑賞されていました。金賞受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

- 【絵画】福山 陽一さん(泉町) 【書】山本 政行さん(大地)
- 【写真】松江 武人さん(メイプルタウン)
- 【手芸・工芸】田代 穂さん(筋原) 寶藏寺 八千代さん(撰分)